

# サッカーで交流

## 津谷、大槌など4中学校

よる震災復興支援スポーツ交流プログラムの一環。気仙沼、津谷、志津川、大槌の各中学校のサッカー部が参加した。

学校対抗戦、全校混合によるマラソンサッカーで交流。この日は風が冷たく肌寒かったが、青空が広がり、生徒たちは懸命にボールを追いかけながら伸び伸びとプレーしていた。

気仙沼市、南三陸町、岩手県大槌町の4中学校によるサッカー交流試合がこのほど、津谷中学校で行われ、生徒たちがプレーを通じて親睦を深めた。NPO法人・AMD A（本部・岡山県）に

津谷中の主将千葉拓君（2年）は「大槌と試合したのは初めて。パスがうまく、なかなか攻められなかった。今後も被災地同士で協



サッカーで交流する生徒たち

力し合えば」と話していた。

AMD Aは震災直後、南三陸町や大槌町に緊急医療チームを派遣したほか、気仙沼市と大槌町の被災地間交流事業も実施。昨年は同世代間交流事業として、志津川中などの生徒を岡山県に招き、地元中学生とのサッカー交流会を開いた。